

令和4年度 事務職員交流会 議事録

日時：令和4年8月25日(木)14:00～16:30

場所：アンピエールホテル大阪 3階大ホール

司会：大阪府看護学校協議会事務局 江崎

参加者：17名

事前に7つの議題があがっており、それに基づいて下記のとおり意見交換を行った。

①学籍情報のデータ管理について

一昨年 infoClipper を導入した。古いデータをどこまで登録しているのか、どのように管理しているか。

各校古い学生情報(紙媒体)の保管に困っている。情報量が多大なため学籍ソフトへ登録するのは現実的ではない。文書発行の依頼などがあった場合、紙媒体そのものをコピーして発行する学校と、スキャンしてPDF化を済ませて出力している学校が多数。また、災害対策の取り組みとしてスキャンだけではなく、クラウドへのバックアップと持ち出し用としてディスクで保管している学校もあった。保存対象は学籍簿と成績証明書であるとのことだった。

以下導入していると声の上がった学籍ソフト

- ・infoClipper (<https://www.nittosys.co.jp/infoclipper/>)
- ・efflabo (<https://www.efflabo.co.jp/gyoumunaiyou.html>)
- ・キャンパスプラン (<https://www.systemd.co.jp/campusplan>)
- ・School Gear (<https://www.planners.co.jp/>)

②図書管理について

図書についてデータ化されておらず今後システム化検討中。今どのような運用しているかききたい。

システム化(バーコード管理)している学校と、手作りの図書カードで運用している学校や、司書はおらず図書委員として教員と学生で運用している学校もあった。システム化している学校については、延滞などの連絡もすべて自動でできる学校もあった。

以下導入していると声の上がった図書管理システム

- ・ブレインテック(情報館) (<https://braintech.co.jp/>)
- ・キハラ株式会社 (<https://www.kihara-lib.co.jp/>)
- ・図書丸ねっと (<https://www.ddk.ne.jp/publics/index/312/>)

③高等教育修学資金新制度の事務処理について

提出書類が煩雑ですごく多い。学生への促し方や業務整理の仕方についてうかがいたい。

個人ファイルでの管理を徹底することと、以下のような対策をしていると意見があった。

- ・学費との関りが強いので、経理の者と確認しながら1人で判断しないように行っている。
- ・次年度4月～の継続申請書(A様式2)については、貸与奨学金の継続願・適格認定と合わせて回収している。出来るだけ奨学金と同時にできることはまとめている。
- ・学生を呼び出して、その場で記入させてその場で回収し、漏れを防いでいる。家計急変については3か月毎に手続きが必要なため、担当者を決めている。

④奨学金事務について

奨学金を本年度から担当することになった。jasso について担当者割り振りがあるかききたい。

学校独自の奨学制度については各校事務部長の担当であるところが多く、jasso については多数の学校が1人で担当している状況である。

⑤補助金について

今年、定員に過年度生が加わったことにより、人数が増加したことで指摘があった。それについては数年前から同じように申請しているものであってとても困惑した。そのようなことは過去にあったかききたい。

各校定員数には気を付けながら次年度募集を行っているところであり、定員数新生をとりたいが、過年度生のことも考えなくてはならず、難しい。学校としては過年度生も含めて定員の1割を超えることがないよう注意している。また、昨年の新カリキュラム改正時の申請のやりとりも含めて、ここ2・3年で指摘されるポイントが細くなったような気がする、医療対策課に大きな人事異動があったのではないか、との話があった。

⑥学校広報について

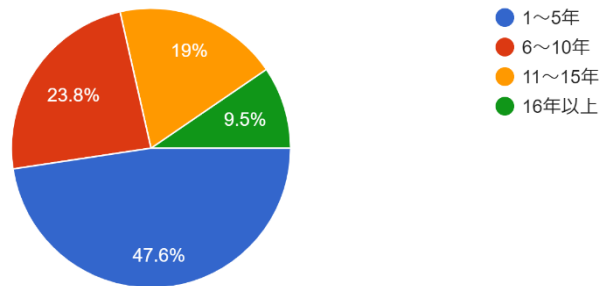
高校訪問やオープンキャンパスについては、コロナ流行前のように実行できるようになってきている。オープンキャンパスは来校型・オンライン型・個別相談の日程を持つなど様々な形態で募集活動をしている様子であった。またこの数年でデザイン会社に発注しHPを改定した学校が多い。加えてSNSツールを利用し、若い世代への発信と不特定多数みてもらうための工夫を各校実施している。SNSについては広報委員の学生で運用している学校もあった。

⑦ICTの導入状況、残業時間削減の取り組み

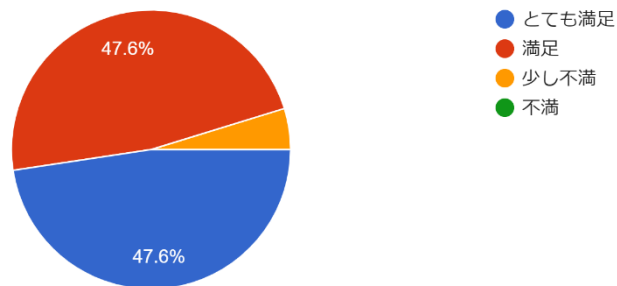
本校でも電子テキスト導入を検討している。ほぼ医学書院のものを入れていると思うが、教員が医学書院以外のものを利用したい、といった場合どうしているか、他問題点などあるか。

昨年から電子テキストを導入した学校が多く、故障などトラブル対応に手間がとられることが問題とのことであった。契約会社以外のテキストの要望があった際には、該当講師に説明をし、出来るだけ学生には他での出費を避けたいとお願いをしている状況であること、また、電子カルテのデモを導入し、教材として役立っている学校もあった。

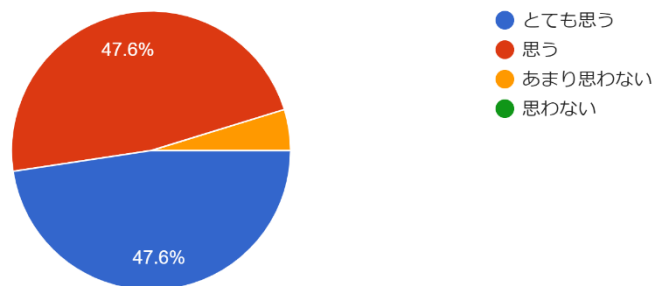
1. 経験年数について



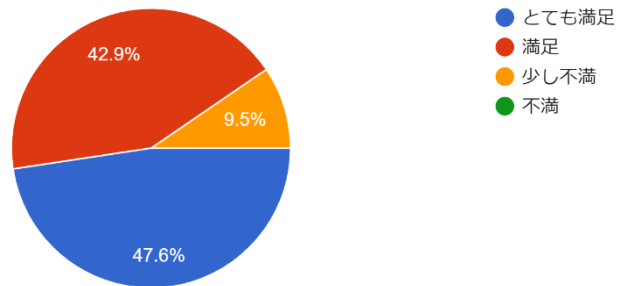
2. 他校の事務職員との交流、意見交換について



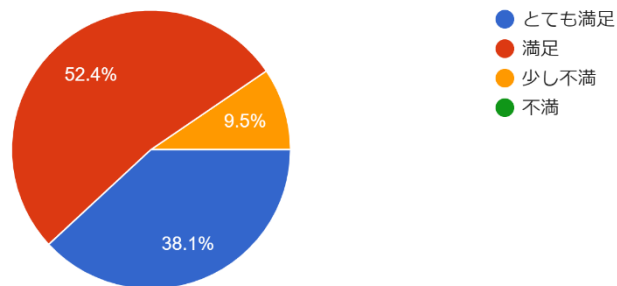
3. 今後の業務に活かせるものでしたか



4.開催時期について



5.交流会の設定時間について



6.今後の開催の有無について

